

GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580
ガバナー月信

9

SEPTEMBER 2019 Vol.3

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階

TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212

E-mail: office@rid2580.org URL: <https://www.rid2580.org/>



原点に戻って

国際ロータリー第2580地区

2019-20年度ガバナー

新本 博司

残暑お見舞い申し上げます。暦の上では秋だというのにまだまだ暑い日が続いておりますが、ロータリーライフをエンジョイしていますか。公式訪問はお蔭様で何とか順調に進んでおります。これまで訪問したクラブは、会長・幹事を中心に運営に工夫を凝らし、例会を楽しんでおられます。そして「まずは実践しよう」との意気が伝わってきます。

クラブそれぞれに良さがありますが、「出席率がもう少し良ければ・・・」「若者や女性が入会してくれば・・・」「どのような奉仕をすれば良いか・・・」などの悩みも抱えています。その答えは、東京RCの100周年のスローガン「原点に立つと未来が見える PARTICIPATE!」にあるのではないのでしょうか。チャーターメンバーの想いを今一度行動に移すことこそ解決策なのだと思います。私たちロータリアンは、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

公共イメージ向上に努めよう

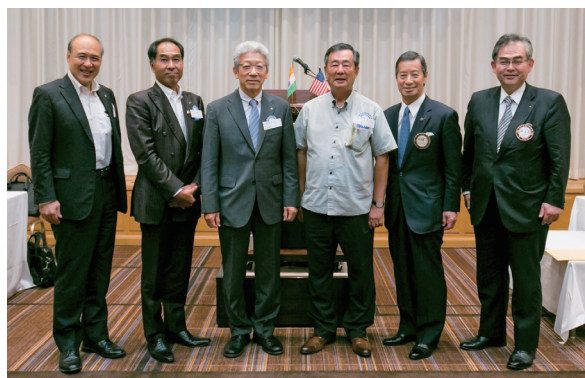
「長年ロータリーは広報や認知活動に努めることなく、地元や世界でどれだけ素晴らしい活動をしているのかを、もっと効果的且つ積極的にマーケティング活動することによって、ロータリーの公共イメージを高める必要性がある。」ジョン・ジャーム元RI会長のこの言葉を私は今年度のガバナー方針の内に引用しました。私も全く同様に考えるからです。

本年度、私はこの第2580地区方針における重要項目の第1番目の項目として「公共イメージと認知度の向上」を掲げました。そして地区全体としてロータリーの公共イメージアップに取り組むため、地区公共イメージ向上委員会を立ち上げました。

『ロータリーの友』の2019年6月号の特集は「クラブ「広報力」印象に残るロータリーの作り方」でした。皆様お読みになられたこととは思いますが、その特集の中では「ロータリーにおいて対外的な広報が必要なのはなぜですか？」との設問に答えて「ロータリーが地域で理解され、信頼関係を築き、最終的に会員増強・拡大につなげていくには、私たちのことを知ってもらう努力が必要です。いくら素晴らしい理念を掲げ、地域に貢献する活動をしていても、それが伝わらなければ、地域のさらなる支援は得られません。」と述べられています。公共イメージの向上は決してロータリーの宣伝ということではなく、地域や様々な分野での奉仕活動と車の両輪のように同時に回転し、我々の奉仕の理想を推進していくものです。今や、「ロータリーは表だって宣伝なんかするものじゃない。」と孤高の貴族趣味を気取っている時ではありません。クラブが存在する地域との連携を強化し、我々の活動を必要とする人びととつながるためにも我々の公共イメージの向上は必要なことなのです。

ロータリークラブ定款の第13条第7節の委員会の規定においては、「本クラブは次の委員会を有すべきである。」として5つの委員会の一つに公共イメージ委員会が挙げられています。各クラブの会長・幹事、役員の皆様はこのことを良く理解し、ご自身のクラブにおいて公共イメージに関する議論を興し、それを行動につなげてください。

公共イメージの向上のためには、何を対外発信するかがとても重要です。そしてそれこそ、私たちがそれぞれのクラブで取り組んでい



東京 RC 公式訪問にて

る「奉仕活動」であるべきです。これからは皆様の奉仕活動をもっと地域に知ってもらうために進んで発信もしましょう。皆様のクラブで行われる奉仕活動の情報を地区公共イメージ向上委員会に教えてください。皆様の情報をSNSなどを通じて広く対外発信していきます。

また、皆様が地元で行う活動を「ロータリーデー」として広く一般の方々も参加できるものに拡大し展開していくことも一つのアイデアです。今年度の沖縄における地区大会では、前日祭として公開の場で一般の方にも参加してもらえるロータリーデーを行います。

屋外での奉仕活動を行う際にロータリーのロゴが入ったジャケットやベストを着用したり、その会場にノボリを設置したりすることも有効なアピールになります。国際ロータリーウェブサイトのブランドリソースセンターの中には、公共イメージの向上に役立つ多くの資料があります。大いに活用しましょう。

またチラシやパンフレットを印刷する際には「ロータリーの統一イメージ」に定められたロゴやロータリーカラーが定められていることにもご注意ください。不明な点は地区公共イメージ向上委員会にお尋ねいただければ、全力で皆様のサポートをいたします。

我々が信じて推進するロータリー活動です。臆することなく、世の中に知ってもらいましょう。そして地域と共に、善意の輪を広げて行きましょう！

クラブ奉仕委員会からのお願い

4月の地区研修協議会の際にクラブ奉仕委員会から発表がありました通り、今年度の重要項目として「ブランディング」を取り上げています。各クラブにおいて、自クラブの「らしさ」について積極的に議論を交わしていただくべく、2020年2月4日（在京クラブ、沖縄では2月12日）のクラブ奉仕委員長報告会及び賀詞交歓会のご案内を差し上げました。当日は、吉田建二パストガバナー（地区クラブ奉仕委員会カウンセラー）、野生司義光ガバナーエレクトと共に私も出席し、次年度へつながっていくように、皆様と情報交換・共有いたします。

テーブルディスカッションを行う予定で、その題材としてアンケート用紙をクラブ奉仕委員長宛にお送りしました。期限までの回答をお願いいたします。2020年2月4日（東京）及び12日（沖縄）の議論につきましては、ガバナー月信2020年4月号にて報告いたします。

RLIのすすめ

第2580地区のRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）も2期目に入りました。RLIは、ディスカッションを通じてロータリーに対する理解を深め、モチベーションを高めることによって楽しいロータリーライフを過ごすことを目的としています。参加を繰り返すことによってリーダーシップを磨くことができ、参加者同士の信頼関係と友情を育むこともできます。

ロータリーは、もともと経営者の集まりであり、ベテラン職業人の宝庫であります。その人たちがこのRLIを通じて、ロータリアンとしてさらに成長されるものと確信しております。何回かのセッションを通じてロータリー全体の体系や参加者同士の考え方の違いを理解することができます。

ディスカッションでの発言時間は、公平に、数多く発言してもらうために1人1～2分としています。また、議論が対立しないようにする、発言者を追及しないなどの配慮をしています。肩ひじ張らず、安心してご参加ください。今年度は東京、立川、那覇で開催いたしますので、各日程を確認し、ぜひお越しください。

ガバナー公式訪問が始まりました

7月17日（水）の東京浅草中央RCを皮切りに、私のガバナーとしての公式訪問が始まりました。東京浅草中央RCウェブサイトの潮田会長のご挨拶ページにて、ローターアクト支援、米山奨学生受入等の他、沖縄地区大会へ会員全員参加を目標に掲げていただきありがとうございます。東京浅草中央RCは、ローターアクトを2015年に立ち上げ、社会奉仕でも若い方々が活躍しています。また、この2年で13名の新入会があり、会員増強と良い意味で世代が若くなって活気があります。新会員に紹介者だけでなく3名の会員がついてフォローすることや、夜の懇親会で疑問や意見を聞いて定着に繋げています。社会奉仕では東日本大震災の被災地いわき市の高校生を招待してのフラフェスin浅草を開催、さらに日本赤十字と協力して献血まで同時にやろうと取り組んでいました。温故知新を掲げて、まさに伝統を大切にしつつも新しいチャレンジをして行こうとする、すばらしいクラブでした。

翌18日（木）には、東京リバーサイドRCを訪問しました。RI会長

テーマと地区方針に合わせ、クラブの今年度テーマを「さらなるつながりを！」としたと伺いました。「ロータリークラブの基本は奉仕活動です。職業奉仕、クラブ奉仕、社会奉仕とありますがどれも大切な奉仕活動です。私が長くロータリークラブを続けてこられたのも奉仕活動を通じて奉仕の本当の意味を知ったからです。」とウェブサイト書かれていらっしゃる通り、奉仕活動に積極的である印象を受けました。

19日（金）訪問の東京東RCは、東分區で最初の訪問となりました。分区内では最古参のクラブということで、伝統と格式を感じました。当地区で3番目に古いクラブであり、過去にガバナーを6名輩出している伝統のあるクラブです。地区の先導的なクラブになっていくことを期待しますと、お伝えしました。

22日（月）の東京浅草RCでは、会長から、本年度のテーマ「浅草ロータリークラブの良さを再認識しよう」について伺いました。かつては154名いた会員数も、77名まで落ち込んだとお聞きしましたが、会員数の増減は一気に起こるものではなく、早めに状況を把握し対策を立てる必要があると考えます。入会動機はそれぞれに違いがありますが、一期一会の関係を大切に、世界の恒久的な平和への活動を目的に意義ある奉仕の理念を実践することで、入会して良かったと思えるクラブになると考えます。ロータリーが114年継続してきた意義を思い返し、原点に戻り奉仕の実践に向けて活動することが必要です。浅草という地域性を前提に自身が住んでいる地域社会に役立つ行動が会員増強にもつながるのでしょうか。会員の子息、ローターアクターのロータリークラブ入会を推進するため、衛星クラブの設立を検討中であることや、地区へ9名の委員を派遣し、青少年奉仕活動を重点的に活動しているとお聞きして、嬉しく思いました。

23日（火）の東京葛飾RCの会長幹事は、クラブ内で最も年齢の若いお二人です。クラブのホームページを「明るく楽しい」と感じるようにリニューアルし、SNSも活用しています。クラブ内でも担当委員長が中心となり、SNS活用や操作の勉強会を開催するなど、新しいことへの取り組みも積極的で、実際にウェブサイトを見て入会した会員がいると伺いました。

会長テーマ「ありがとう 感謝でつなぐ和と奉仕」に感動し、このことがRI会長テーマにもつながっていくと思いました。東京葛飾RCでは、「温故知新」の心を実践しておられます。これからもウェブサイトやSNSを活用して、公共イメージの向上につなげていってほしいと希望いたします。



24日(水)の**東京RC**は、私が所属する那覇RCの親クラブで、沖縄11クラブの会員は皆、一生に一度は東京RCでメイクアップを考えているものの、なかなか敷居が高く感じられて実現出来ておりません。沖縄にロータリークラブをという希望がなかなか叶えられなかった時代、東京RC会員であった沖縄出身の瀬長良直氏の後押しで、沖縄に那覇RCが出来た経緯があります。東京RCの週報は毎週届けていただいておりますが、卓話者が素晴らしい。来年には100周年記念もあります。過去に当地区で協力していた対人地雷除去への支援活動や、米山記念奨学事業は東京RCから始まったものです。これからも東京RCがリーダーシップを取っていただきたいと思います。そのためにも、地区に役員を今後も輩出いただけるようお願いいたします。

25日(木)の**東京神田RC**は老舗のクラブらしく、事業計画の報告をしていただきました。その中で、会員増強に関して意気込みを強く感じました。例会では丁度新入会員の入会式があり、昼の例

会でありながらワインが出されるなどクラブ運営に様々な気配りを感じました。

26日(金)の**東京新宿RC**に伺うのは実はこれが最初なのですが、新宿は私の青春の場でもあり、こうしてガバナーとして東京新宿RCを訪れることに感慨を覚えます。1964年に石垣島から上京し下北沢に学生として下宿したこと、国会議員秘書として阿佐ヶ谷に住んで居た頃の思い出があります。堅実でしっかりとロータリーの精神を反映した活動をしていて、素晴らしいと感じました。新宿という国際的に有名で、若者の憧れの街が背景にあるクラブです。新宿区は外国人が多く、今区と連携して外国人の就業支援(具体的にはインターンシップ)が出来ないか検討中です。青少年奉仕にも積極的で、今年はホストクラブとしてスペイン来日生を受け入れる他、ローターアクト設立の検討も行ってくださると聞き、嬉しく思いました。

会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC	会員増減数	35名
2019年7月1日正会員数	2,990名	入会者数	42名
(内女性)	202名	退会者数	7名
2019年7月末日正会員数	3,025名		
(内女性)	208名		

※詳細は地区ウェブサイト「[会員数](#)」のページをご覧ください

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団メジャードナー

レベル1 古内 亀義 (東京セントラルパーク)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

4回	新 健一 (東京神田)	多田 宏 (東京神田)
3回	川手正一郎 (東京神田)	北岡 修一 (東京新都心)
2回	浜田 章男 (東京神田)	五三 雅彌 (東京神田)
	青木 宏義 (東京新都心)	青山 信之 (東京新都心)
	ヴァッタ ヴァバン (東京新都心)	半場 慎一 (東京新都心)
	引地 正修 (東京新都心)	本多 良美 (東京新都心)
	伊藤 道男 (東京新都心)	大瀧 一喜 (東京新都心)
	山口 昭夫 (東京新都心)	西岡 孝志 (東京紀尾井町)
1回	佐原 且朗 (東京新都心)	佐々木 智 (東京新都心)
	江藤 昭子 (東京紀尾井町)	金丸 精孝 (東京紀尾井町)
	小林 康和 (東京紀尾井町)	井田 吉則 (東京本郷)
	萱森 由美 (東京セントラルパーク)	

ポール・ハリス・フェロー

福岡 正人 (東京神田)	内藤 勝弘 (東京神田)
石川 佳照 (東京新都心)	吉村 利文 (東京新都心)
勝田美保子 (東京紀尾井町)	

ベネファクター

井上 和賢 (東京ワセダ)	中川 雅雄 (東京浅草)
---------------	--------------

米山功労者・メジャードナー

28回	鈴木 喬 (東京江北)
-----	-------------

27回	清水 英世 (東京西北)	
20回	今井 宗陽 (東京紀尾井町)	
17回	金田 康男 (東京紀尾井町)	服部 支朗 (東京荒川)
	加藤 利雄 (東京本郷)	
13回	鈴木清二郎 (東京王子)	
12回	古内 亀義 (東京セントラルパーク)	高木 義雄 (東京王子)
	竹内 渥躬 (東京荒川)	寺 紘一 (東京荒川)
10回	四方 満 (東京新宿)	

米山功労者・マルチプル

9回	宮島 俊雄 (東京ベイ)	
7回	南山 幸弘 (東京池袋)	
6回	清本 正法 (東京武蔵野中央)	崎原 信一 (那覇西)
5回	松林 茂 (東京セントラルパーク)	井上 久子 (東京荒川)
4回	加古 博昭 (東京池袋)	城間 巖 (那覇西)
3回	木崎 重安 (東京荒川)	高田 秀寿 (東京荒川)
	原田 寛 (東京江北)	
2回	片岡 莊子 (東京ワセダ)	石川 幸男 (東京荒川)
	町田 清二 (東京東村山)	

米山功労者

徳岡 光洋 (東京荒川)	渡邊 昌裕 (東京荒川)
山本 智治 (東京東村山)	

7月31日分まで 敬称略、順不同